



2023年7月27日

## あすならホーム恋の窪 2023年度第1回運営推進会議

(介護・医療連携推進会議)定期巡回随時対応型訪問介護看護・地域密着型通所介護

あすならハイツ恋の窪  
10:00~11:30

### 1. 運営推進委員

〈恋の窪1丁目自治会長〉	島田様(武田会長代理)
〈大安寺西民生児童委員〉	左近様
〈三笠地域包括支援センター〉	福井様
〈地域ドクター医療関係薬剤師〉	嶺井様(みねい歯科)、豊田様(若葉薬局)
〈利用者家族〉	前田様
〈ならコープ〉	土井様
〈まちかどネット恋の窪代表〉	飯田様
ハイツ恋の窪職員	専務 東浦、施設長 児島、事務長 松井、小濱
担当部署主任	上埜(居宅)、山村(デイ)、辰巳(ショート)、西口(定期巡回)
司会進行	専務 東浦
議事録作成	小濱

- 5月以降、コロナも第5類となり通常の会議開催とさせていただきます。

### 2. 協同福祉会からの報告 (前回の会議以降)

- ① あすならホーム二階堂を移転拡張しました。4月から稼働しています。現状のサービスにグループホームを新事業として拡張しています。デイサービス、小規模に加え3つの事業を運営する形になっています。
- ② 2023年度の新卒採用は26人採用しました。1か月間の研修を経て、5月から1人恋の窪にも配属されました。26人中(内ベトナムの留学生5人含む)ベトナム留学生5名のうち1名が体調不良で学校を休学して一時帰国されましたが、復職・復学希望があり、現在はまた日本に來られアルバイトとしてあすならハイツ恋の窪就業中です。
- ③ ユニバーサル就労(障がい就労支援)は協同福祉会全体で27人となり当事業所でも1人勤務しています。
- ④ あすなら研修センターを設置しました。職員の研修や会議、中途採用者研修に活用をしています。旧あすならホーム二階堂の建物を利用。先日は全国の生協からあすなら10の基本ケアの講習に來てくださり、非常に熱心に参加してくださりました。

- ⑤ あすならホーム西の京の看護多機能は問い合わせも多く、6月末現在で25人の登録となりました。
- ⑥ あすならホーム高畑は小規模多機能の認可を受け、8月頃から工事の着工予定です。
- ⑦ 6月に理事長 村城が定年退職し、後任に大國康夫が理事長に着任しました。
- ⑧ 今年度介護福祉士の合格者は法人全体で40人と過去最高になりました。

### 3. 恋の窪定期巡回随時対応型訪問介護看護

- ① 定期巡回の登録者は6月末で登録者は62人です。(内サ高住にお住まいの方は29人)平均介護度2.2です。内訪問看護が必要な利用者は44人です。
- ② 定期巡回の職員は夜勤者も含めて22人です。内介護福祉士16人、その他は初任者研修修了者、訪問看護ステーションの看護師は5人で運営しています。看護師は定期巡回の利用者も介護職員と連携をとりながら自宅で生活できるように支援しています。また、5月から介護主任を1人から2人にし、体制を強化しました。よりスムーズに対応できるようにしました。
- ③ コロナ感染者は2月以降で利用者8人、職員6人となっています。感染経路は不明ですが、利用者に広がらないように、保健所の指示に従い、消毒などこまめに実施しました。
- ④ 春の地域学習会は5回開催し、延べ48人の参加がありました。参加者からの意見として、利用者対応など日頃の介護の内容がよくわかったなどがありました。6月には学習会終了後に、サ高住にお住まいの方の家族を対象とした家族懇談会を開催しました。13家族が参加し意見交換をしました。
- ⑤ サ高住にお住まいの方を対象にお出かけ企画として、ウナギを食べに出かけました。5月30日31日の2日間(定期巡回利用者11人参加)久しぶりに利用者様の笑顔が見られました。今後も企画をしてお出かけをしていきたいと思えます。

- 主任 西口より:看護師が5名体制となり、充実したケアを提供できているのではないかと考えています。有難いことにたくさんの利用者様にご利用いただいているので、元気な方から寝たきりの重い方まで、今後も地域の方に寄り添ってサービスを提供していきます。

#### <利用者・家族からの苦情>

- ① 通院の手配を「こちらで手配します」と言っていたのに、看護師から介護職員に連絡がいついかなかったり、事務員が通院の件をしらなかつたりで、職員間の横の連携が取れていないのではないかと、職員間のコミュニケーションを密にしてほしい。(家族より)
- ② サ高住の退去について、すでに退去の手続きは終わっているのに、事務所より退去の部屋の立ち合いの連絡があるのか? 手続きが終了しているのになぜ今頃に部屋の立ち合いの連絡があるのか?(家族より)
- ③ 訪問で来てほしいと連絡を入れてもすぐには来てくれない。なぜすぐに部屋に来てもらえないのか?(利用者本人より)



ます。

## 6.参加者様からのご意見

・手洗いうがい、アルコール消毒の協力をしてもらいながら運営している。コロナが増えているとは聞かすが、みねい歯科としてはコロナによる受診キャンセルは減ってきている。ショートステイで口腔ケアセットを利用者皆様の分をまとめて置いているのが少し気になるため、対応していただけたら有難い。

・包括スタッフの中でも感染者が出てきている。ワクチンの接種回数が少ない方もおり、症状が強く出る場合もある。感染者が少しずつ増えてきている印象があるため、できることから対策をすることが大切だと思う。ヒヤリハットの資料も良くまとめられており、日々分析されていることが感じられた。資料にはないが、誤薬事故は発生しているか？

⇒誤薬というより、錠剤の数を間違えて配薬する、といったミスがある。特に夜間帯は少人数で約 20 人の対応を行っていることもあり、服薬が完了するまで見届けられていない時がある。今後も気を引き締めて発生を防いでいきたい。

・子ども食堂を実施していることを知らなかった。参加者の内訳も分からないため、地域の方にどう声を掛けたら良いのか分からない。この辺は交通量が多く、子どもたちが放課後こういった居場所に来てくれれば事故も防げるため安心できる。

⇒今は実験段階で行っているため、十分に宣伝はできていない。今後も半年ほどは内内に行く予定。実施していることを知っていただければ有難い。予約なしで来てもらうこともOKだが、来ていただいた時に親御さんの名前も含め登録簿に記入してもらうことにしている。

・感染者数が増えているニュースを見るが、以前に比べ感染者数を事細かく知ることが少なくなってきたと感じている。規制は緩和されたが、施設は日々どう対応されているのか気になる。

⇒これまで通りこまめな換気やマスクの着用等、気をつけながら対応することは大切だと思う。規制は緩和されているため、その場の人数や状況に合わせて臨機応変に対応する形で良いと思う。施設職員はこれまで通りマスクを着用し、面会等の制限は撤廃している。

・97歳の母が部屋で転倒した際、「この年になると身動きが取れない」と言っていた。骨折の事故も発生しているとのことだが、完全に防ぐためには 24 時間見ていないといけなくなる。職員は日々大変な思いをされていると思うが、困った時に手助けしてくれる存在がいて有難い。

・喫茶の運営では、マスク着用やアルコール消毒をもらい、パーテーションも引き続き設置している。外から来られた方はマスクを持ち歩いていない方もおられるが、喫茶内では声をかけて飲食時以外は着用してもらっている。まだまだ注意が必要だと感じている。

・三笠中学校区の方々と楽しくランチに参加している。新しい方も来てくださっており、お金のかからないカルチャースクールのように感じている。

・毎月 15 日ならコープでフードドライブ、文房具ドライブと称し、家庭で不要になった食品や文房具(新品)を回収している。子ども食堂で活用していただけたらと思う。

・生駒市のコロナの発熱外来を請け負っているが、7 月からは感染者が増えており、ラゲブリオを毎週 4~5 人に出している状態。夏はお祭りや花火大会、お盆休みとイベントごとが多いため、若い方を中心に今後も感染者が増えていくと思う。病院でもクラスターが発生している。最近は特に感染した方に、「感染者」という自覚があまりなく、直接薬局に来られ、スタッフが対応に困ることがある。今は熱中症のリスクもあるため、外ではマスクを外す方が良いかもしれないが、屋内ではエチケットとしてマスクを着用する方が良いのではないかとと思う。

・経験上、子ども食堂は様々な背景を持っている子どもが参加する場合もあり、立ち位置を作るのが難しいと感じている。居場所づくりになるよう応援している。

次回の会議日程 2024 年 2 月 22 日 木曜日 10:00~ あすならハイツ恋の窪サロンにて

以上